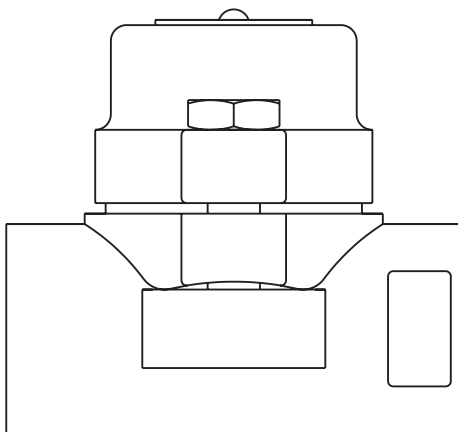


## AVC32型炭素鋼製蒸気用自動空気抜き弁 取扱説明書



1. 安全のための注意
2. 商品仕様
3. 設置
4. 始動
5. 運転
6. 保守
7. 予備部品

---

# 1. 安全のための注意

---

取扱説明書に従って有資格者が設置・始動・保守点検を正しく行なうことにより、これらの商品が安全に稼動できます。配管および工場建設の工事説明書・安全のための注意に従って、適切な工具を使用し、安全設備を備えて、行なってください。

## 警告

本体／カバー・ガスケットには、薄いステンレス製のサポート・リングが使われています。けがをしないように、取扱および廃棄には十分注意してください。

## 遮断

遮断弁を閉じると、システムの他の部分あるいは人体に危害がおよぶことを考慮してください。ベントあるいは保護機器、警報機を遮断することは、大変危険です。システムへの衝撃を避けるために、遮断弁の開閉はゆっくりと行なってください。

## 圧力

保守を始める前に、配管内にどのようなものが残留しているか、あるいは流れていたかを十分に確認してください。圧力を遮断して、安全に大気圧まで排気されているか確認してください。スパイラックス・サーコのDV型ブローダウン・バルブを取り付けると、簡単に行なうことができます。（詳細は別の資料をご覧ください。）圧力計がゼロを示しても、システムの圧力が完全に抜けたと思わないでください。

## 温度

火傷の危険を避けるため、温度が常温になるまで作業を休止してください。必要ならば防護服（防護眼鏡を含む）を着用してください。

## 廃棄

リサイクルできます。廃棄の際は適切な処置を行なうことにより環境汚染を生じることはありません。

## 2. 商品仕様

### 2.1 概要

AVC32型は炭素鋼製の保守可能な蒸気用バランスプレッシャー式自動空気抜き弁です。平らなストレーナー・スクリーンが内蔵されており、ストレート接続です。圧力のかかる全ての部品は、AD-Merkblatt W0/TRD100に合致したTUV認定の工場で製造されています。

### 規格

この商品は、European Pressure Equipment Directive 97 /23 /ECに完全に一致しています。

### 証明書

この商品はEN 10204 3.1に準拠の証明書を発行できます。

注記：ご希望の際は、必ず注文時にご指定下さい。

注記：詳細は、技術資料TI-P123-15をご参照下さい。

### 2.2 口径及び配管接続

15A, 20A, 25A : ねじ込み RpまたはNPT。

15A, 20A, 25A : 差込み溶接 BS 3799適合。

15A, 20A, 25A : 突合せ溶接 EN 12627適合。

15A, 20A, 25A : フランジ: JIS 10K, JIS 20K, EN 1092 PN40, ASME (ANSI) B 16.5 Class 150 及び 300。

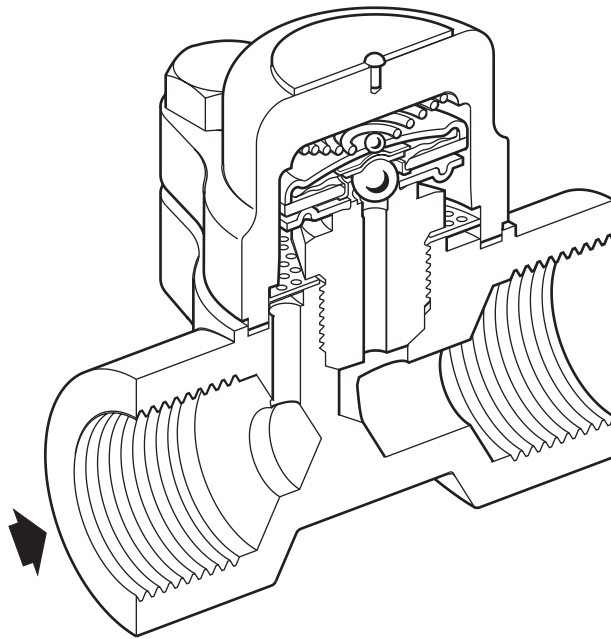
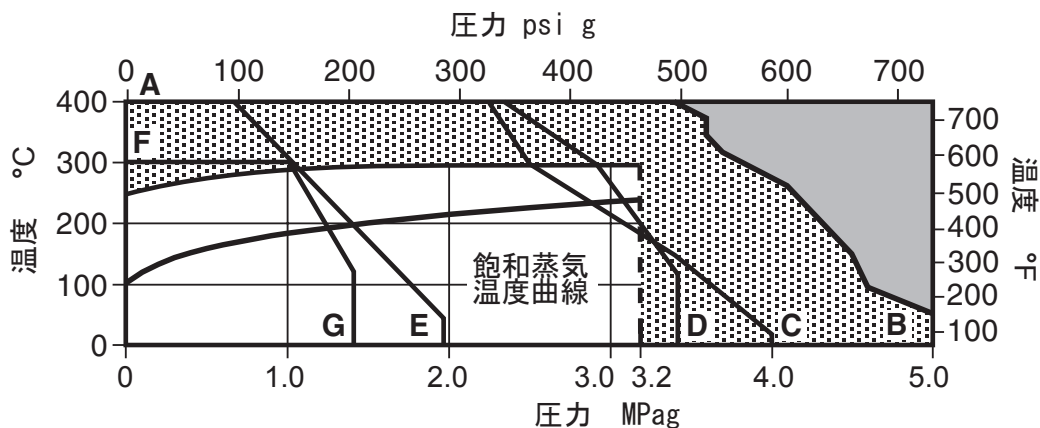


図1. AVC32

## 2.3 圧力/温度限界 (ISO 6552)



■ この商品はこの領域では使用できません。

▨ この領域では内部部品に損傷が起こる恐れがありますので使用しないで下さい。

**A - B** ねじ込み、 差込み溶接、 突合せ溶接 および フランジ ASME (ANSI) Class 300。

**A - C** フランジ EN 1092 PN40。

**A - D** フランジ JIS 20K。

**A - E** フランジ ASME (ANSI) Class 150。

**A - G** フランジ JIS 10K。

本体設計定格	PN40	
PMA 最高許容圧力	(50° Cの時) 5.0 MPag	(122° Fの時) 725 psi g
TMA 最高許容温度	(3.5 MPagの時) 400° C	(507 psi gの時) 752° F
最低許容温度	-60° C	-76° F
PMO 最高使用圧力	3.2 MPag	464 psi g
TMO 最高使用温度	(3.2 MPagの時) 300° C	(464 psi gの時) 572° F
最低使用温度	0° C	32° F
注記: これより低い場合はスパイラックスにお問い合わせ下さい。		
最高テスト圧力	7.5 MPag	1088 psi g

### 3. 設置

注記:設置を始める前に1章の‘安全のための注意’をご覧ください。

取扱説明書、銘板および技術資料を参照し商品が目的に合っているか確認します。

- 3.1 材料、圧力、温度およびそれらの最高値を調べます。商品の最高使用限度が取り付けのシステムの限度より低い場合は、過剰圧力を防ぐ安全装置が備わっていることを確認します。
- 3.2 設置場所および流体の流れの方向を決めます。
- 3.3 蒸気あるいは他の高温になる装置に設置する前に、必要に応じて、すべての接続部のカバーおよび銘板の保護フィルムを取り外します。
- 3.4 AVC32型は、カプセルを水平面に置き、キャップを上にして設置してください。空気を集めるメインあるいはプラントは一番高い位置に置きます。空気を大量に取り除くため、排出を邪魔しないように、できる限り安全な場所に配管して排出してください。(図2および3参照)。
- 3.5 空気抜き弁を保温しないでください。
- 3.6 アーク溶接で接合する場合、配管の溶接—商品からカプセルを取り外す必要はありません。溶接の方法は国の基準に従ってください。
- 3.7 保守のため、本体からカバーを取り外すことができるように、適切なスペースをとってください。カバーからの最小の取り外し寸法は37 mmです。

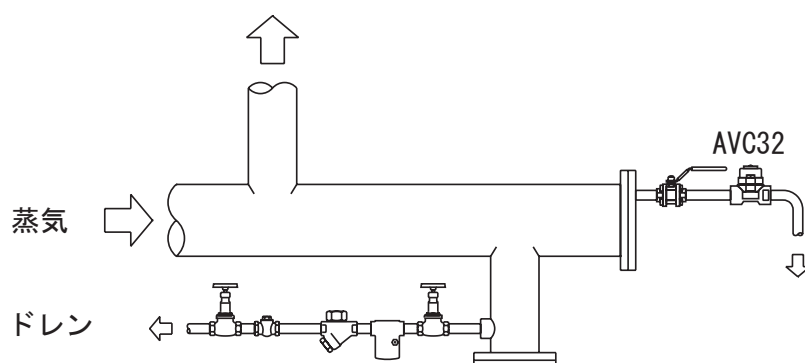


図 2. 分配がメインの装置の末端

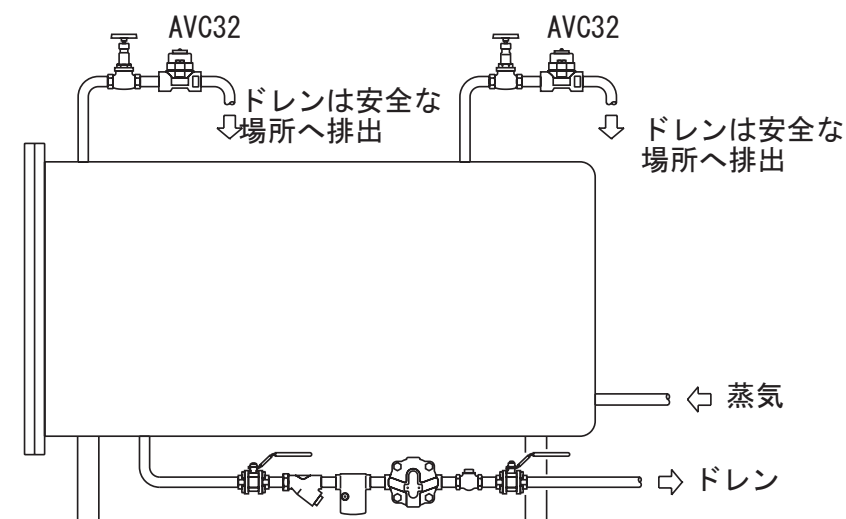


図 3. オートクレーブ  
(高温蒸気滅菌器)

---

## 4. 始動

---

設置あるいは保守の後システムが完全に機能していることを確認します。警報機あるいは保護機器のテストを実施します。

---

## 5. 運転

---

カプセルには、水の沸点より低い沸点を持つ特殊な流体が少量含まれています。始動時に温度の低い状態になると、バルブがシートから離れ開いて、空気が無制限に排出します。バランス・プレッシャー式トラップ／空気抜き弁の特徴で、空気抜きに最適な理由です。

---

## 6. 保守

---

**注記：保守の前に章1の‘安全のための注意’をご覧ください。**

### 警告

**本体／カバー・ガスケットには、薄いステンレス製のサポート・リングが使われています。けがをしないように、取扱および廃棄には十分注意してください。**

### 6.1 注意一般

空気抜き弁の保守を行なう前に供給配管から遮断してください。大気圧まで安全に排気して下さい。その後空気抜き弁を常温になるまで冷却してください。再び組み立てる時は、すべての接続面がきれいになっていることを確認してください。

一度安全な手順が確立すると、空気抜き弁を配管に取り付けた状態で、保守を行なうことができます。保守の度に新しいガスケットおよび予備部品を使用することをお奨めします。正しい工具および必要な保護装置が使用されていることを確認してください。保守が終わりましたら、遮断弁をゆっくり開いて漏れがないか調べます。

### 6.2 新しいカプセルシートの取り付け方法

- ・ 2個のカバー・ボルト(9)を緩めて、本体(8)からカバー(1)およびスプリング(17)を取り外します。
- ・ カプセル(2)およびスペーサー・プレート(18)を取り外します。
- ・ 本体(8)からバルブ・シート(3)を緩めて取り外します。
- ・ ストレーナー・スクリーン(5)を清掃あるいは交換します。
- ・ バルブ・シート(3)を交換して、推奨締め付けトルクで締め付けます。(表1参照)
- ・ 新しいカバー・ガスケット(7)を取り付けて、スペーサー・プレート(18)を再組み立てすることをお奨めします。バルブ・シート(3)の中央に来ていることを確認してください。
- ・ カプセル(2)、スプリング(17)およびカバー(1)を再組み立てします。

**注記：カバー・ボルト(9)は、徐々に推奨締め付けトルクまで締め付けます。(表1参照)**

### 6.3 ストレーナー・スクリーンの清掃および交換方法

- ・ 2個のカバー・ボルト(9)を緩めて、本体(8)からカバー(1)およびスプリング(17)を取り外します。
- ・ カプセル(2)およびスペーサー・プレート(18)を取り外します。
- ・ 本体(8)からバルブ・シート(3)を緩めて取り外します。
- ・ 必要ならば、スクリーン(5)を清掃あるいは交換します。
- ・ バルブ・シート(3)を交換して、推奨締め付けトルクで締め付けます。(表1参照)
- ・ 新しいカバー・ガスケット(7)を取り付けて、スペーサー・プレート(18)を再組み立てすることをお奨めします。バルブ・シート(3)の中央に来ていることを確認してください。
- ・ カプセル(2)、スプリング(17)およびカバー(1)を再組み立てします。

**注記：**カバー・ボルト(9)は、徐々に推奨締め付けトルクまで締め付けます。(表1参照)

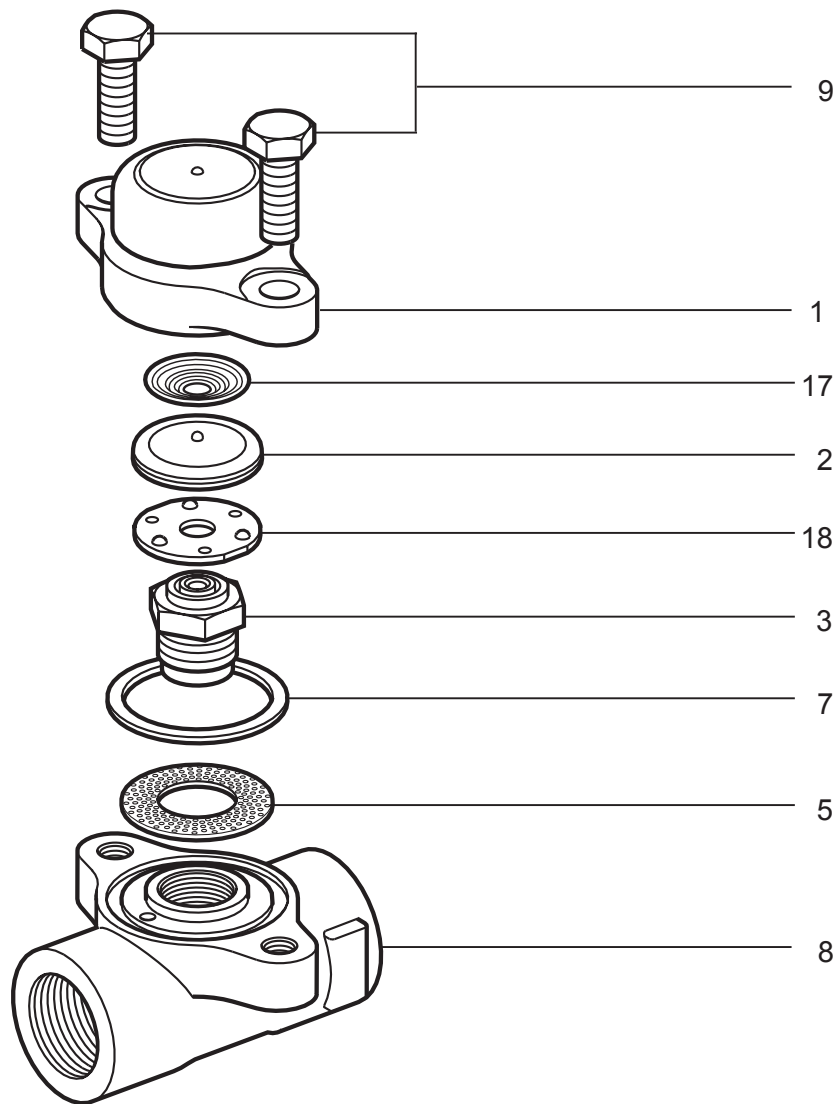




図 4.

表1 推奨締め付けトルク

No.	部品	又は		N m	(lbf ft)
			 mm		
4	バルブ・シート	24 A/F		115 - 125	(82 - 89)
9	カバー・ボルト	16 A/F	M10x30	23 - 27	(16 - 19)

## 7. 予備部品

予備部品は実線で示されています。破線で描かれている部品は予備部品として供給していません。

### 予備部品

カプセルおよびシート・アセンブリー・セット	2, 3, 17, 18
ストレーナー・スクリーン (3個入)	5
カバー・ガスケット (3個入)	7

### 予備部品の注文方法

必ず予備部品欄の名称を使用し、空気抜き弁の型式と口径を指定してください。

例：25A、AVC32型用カプセルおよびシート・アセンブリー・セット・・・1個

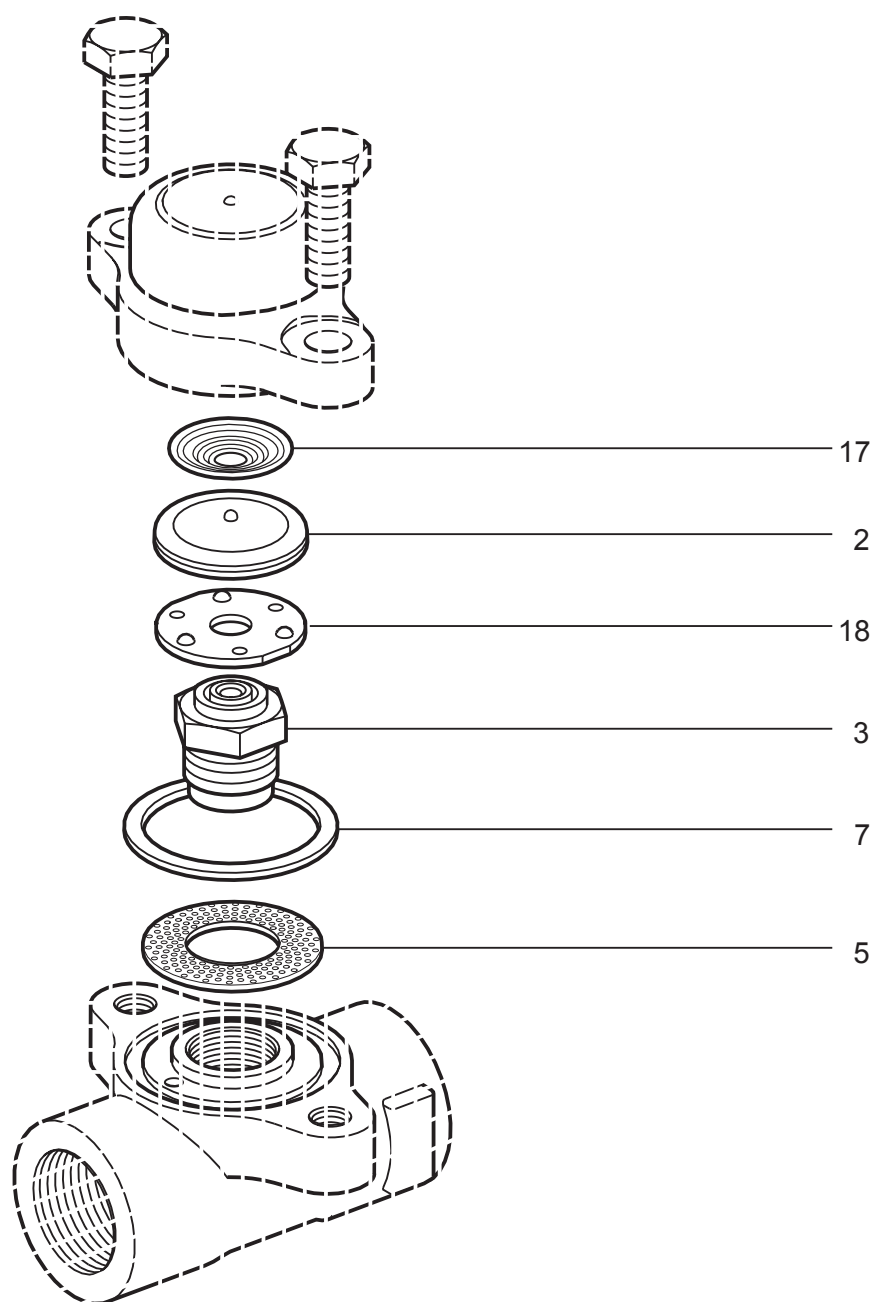


図 5.



---

**BLANK PAGE**

お問い合わせは下記営業所もしくは取扱い代理店までお願いいたします。

**本社・イーストジャパン・ノースジャパン**

■電話（フリーダイヤル）

技術サポート：0800-111-234-1

ご注文・お問合せ：0800-111-234-2

■FAX

(043) 274-4818

■住所

〒261-0025

千葉市美浜区浜田2-37

**ウエストジャパン**

■電話（フリーダイヤル）

技術サポート：0800-111-234-1

ご注文・お問合せ：0800-111-234-3

■FAX

(06) 6681-8925

■住所

〒559-0011

大阪市住之江区北加賀屋2-11-8  
北加賀屋千島ビル203号

取扱説明書の内容は、製品の改良のため予告なく変更することがあります。

**spirax**  
**/sarco**

*First for Steam Solutions*

EXPERTISE | SOLUTIONS | SUSTAINABILITY

**spirax**  
**/sarco**